

# 經營方針說明

代表取締役社長 CEO 阿多親市

# 第2次中期経営計画 振り返り

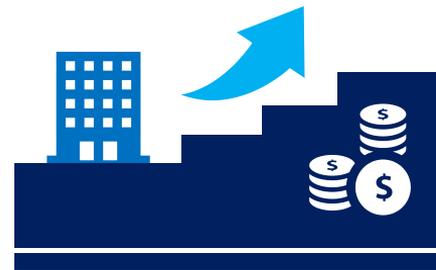
クラウドへの集約



IoTビジネスの開発



強固な収益基盤確立



**No.1の事業領域を創り出し、  
新しい価値を生み出し続けるためにビジネス変革を推進**

## クラウドへの集約



- クラウド関連ビジネスへ特化
- システムとビジネスをクラウドへ
- 個別開発ノウハウのサービス化

## 最重要経営指標に向けた活動・結果

注力事業売上高 / 営業利益(率)

### 注力事業収益 ※期間：FY13比較（第1次中計初年度）

- 合計売上高： 約4.5倍 (33→161億円)
- 売上高成長： CAGR 35%
- 売上高構成比： 10% → 32%
- 限界利益構成比： 18% → 45%

## トピックス

取り組みの成果・実績

- 建設業、製造業の顧客基盤拡大
- クラウド累計導入実績800社超
- 自社サービスを開発

clouXion



SoftBank Technology  
Managed  
Security Service

## IoTビジネスの開発



- ワンストップでIoTサービスを提供
- 積極的な実証実験の実施
- IoT機器領域の進捗・クラウド&データ領域の方針

### 最重要経営指標に向けた活動・結果

注力事業売上高 / 営業利益(率)

- PoC・サービス開発でコストが先行
- IoTの事業貢献は次期以降

### トピックス

取り組みの成果・実績

- ビル管理や鉄道事業等での実績
- 自社サービスを開発
- 新生サイバートラスト誕生



## 強固な収益基盤確立

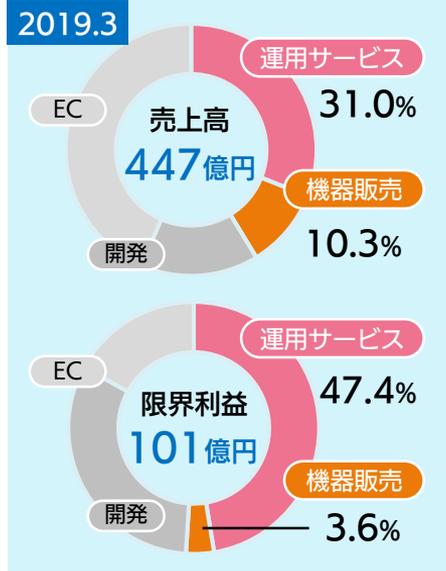
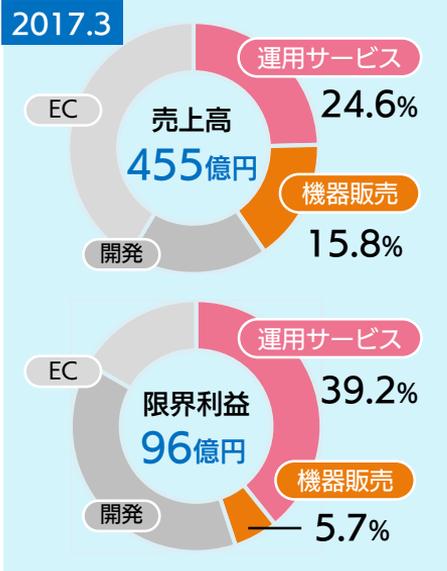


- スtockビジネスの強化
- プロジェクト収益最大化・サービスの利益率向上
- 働き方改革と過重労働対策

## 最重要経営指標に向けた活動・結果

注力事業売上高 / 営業利益(率)

### 形態別構成比率 (SBT単体)



## トピックス

取り組みの成果・実績

- 過去最高の営業利益を達成
- スtock売上高の拡大
- 低採算な機器販売の戦略的撤退
- プロジェクト管理体制強化・開発手法見直し
- ビジネスIT領域で不採算PJが複数発生

# 第3次中期経営計画



第3次中期経営計画

Transformation 2021



# 新たな経営理念

Mission

存在意義

情報革命で人々を幸せに

～技術の力で、未来をつくる～

Vision

目指す姿

多様な働き方と挑める環境で先進技術と創造性を磨き、  
社会に新しい価値を提供し続ける

Value

価値観・行動指針

3つの視点 × 3つのアクションで  
多様性を認め合う

成長

信頼

価値



たのしむ

つくる

つなぐ

# Vision 2030 での分析結果

## 世の中の動向

- 労働人口減少 / 少子高齢化
- IT / セキュリティ人材不足
- サイバー攻撃増加 (東京五輪)
- マイナンバー / 個人情報保護法
- サイバーセキュリティ基本法
- NOTICE(IoT) / GDPR対応
- ロボット、ドローン、自動運転車進化
- 5G、AI、IoT、xR、RPAの普及
- オンプレシステムのEOLの波

## SBT親会社の動向・変化

- 親会社の異動 (ソフトバンク株式会社へ)
- 国内事業シナジーの創出がテーマ
- ソフトバンク株式会社上場
- ソフトバンク・ビジョン・ファンドとソフトバンク株式会社の連携による国内JV推進

## 顧客の動向・課題

### ビジネスIT (BIT)

- 不確定・変化のスピードに合わせた事業戦略遂行
- 競争力強化のための先端技術を活用
- 事業のグローバル化

### コーポレートIT (CIT)

- 本業成長のための事業部門向けIT支援
- クラウドファースト / 業務アウトソース加速
- 働き方改革推進のためのIT利活用

機会

- 親会社連携の強化

- DX推進の支援
- IoT協創
- グローバルセキュリティ

機会

- アウトソース拡大
- 対応社数増加

機会

## 現在のSBT強み・特徴

- Cloud & SECの技術力
- 自社サービス群 (clouXion, MSS)
- グローバルSOC
- 建設・製造業での実績
- デバイスからクラウドまでIoT対応可能

# 長期目標と第3次中期経営計画

長期目標

## 日本企業の競争力を高める クラウドコンサル&サービスカンパニーへ

- クラウド&セキュリティ No.1
- 先端技術と創造性でグローバルビジネスをお客様と協創

### 第3次中期経営計画 重点テーマ

サービスプロバイダーへの進化



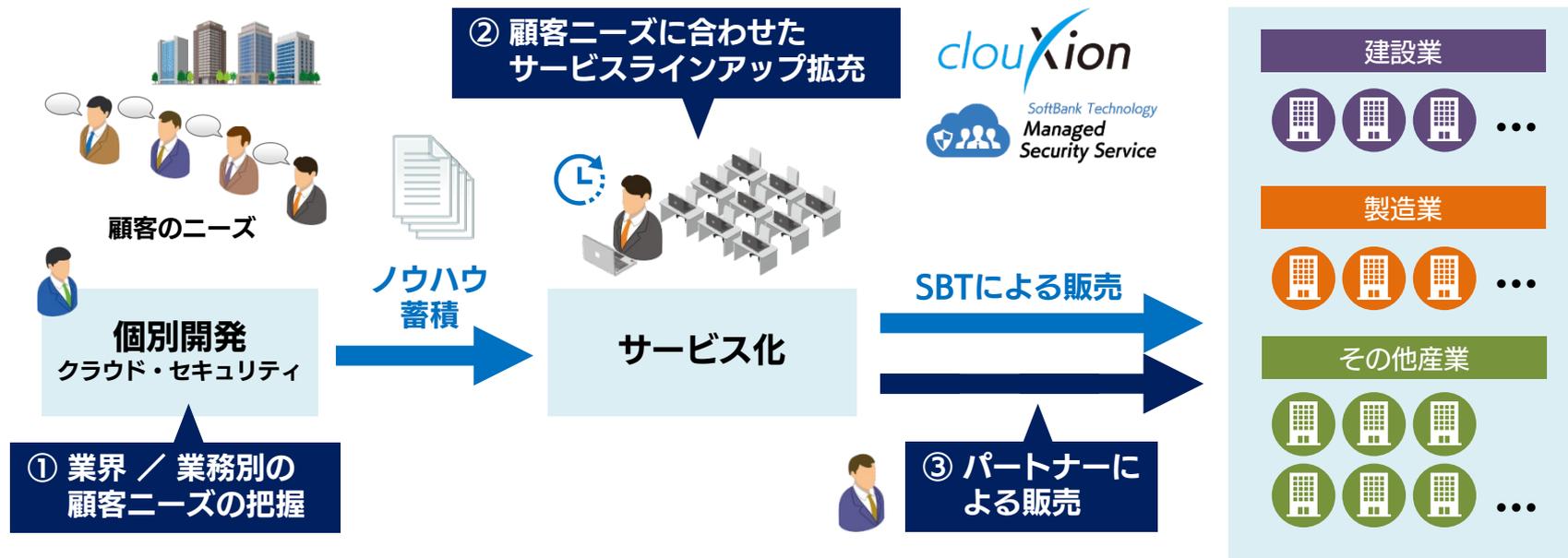
コンサルティング&ビジネスITの創出



# サービスプロバイダーへの進化 (第3次中期経営計画：重点テーマ①)



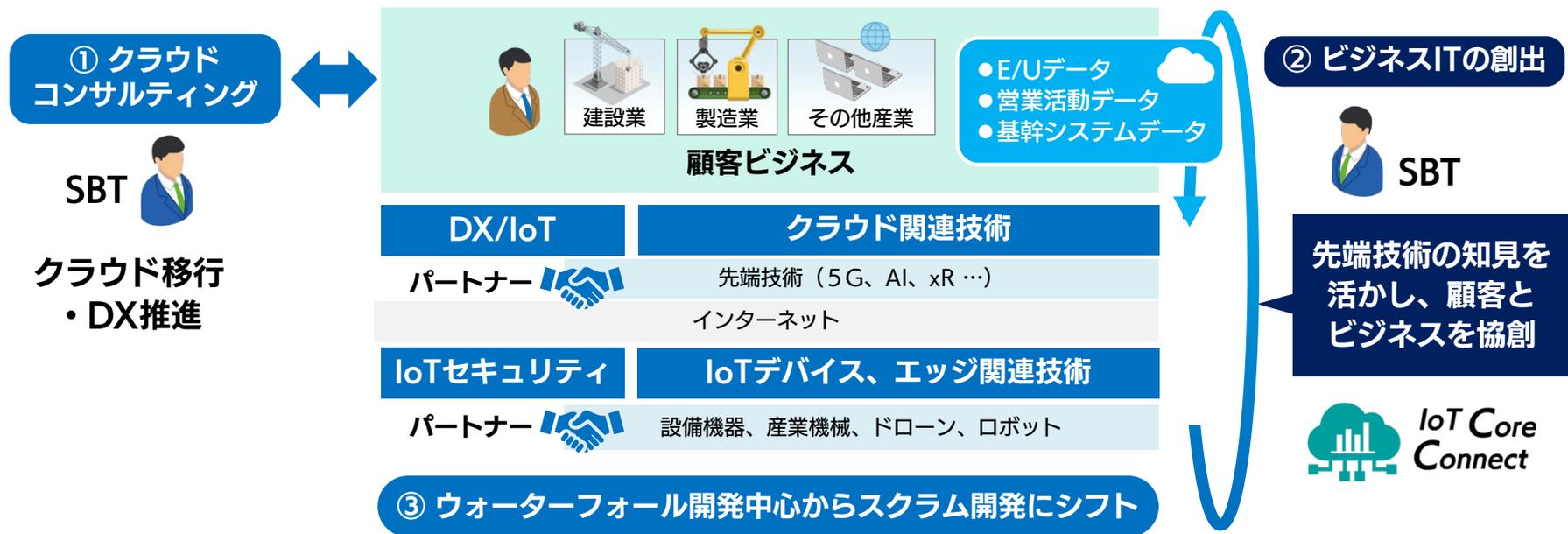
- ① サービス化につながるシステム開発に集中
- ② クラウド&セキュリティのサービス化推進
- ③ パートナーセールスの確立と強化



# コンサルティング&ビジネスITの創出 (第3次中期経営計画：重点テーマ②)



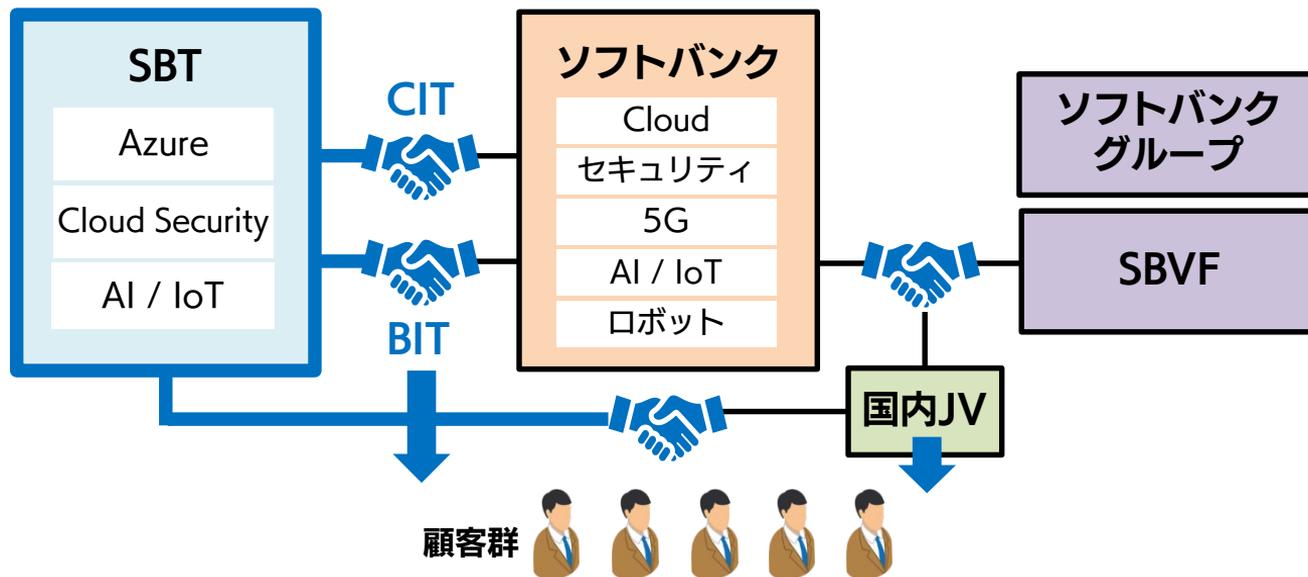
- ① 既存ビジネスのクラウド・DX推進
- ② IoTや先端技術を活用した新ビジネスの協創
- ③ スクラム開発の浸透



# ビジネス機会：ソフトバンク株式会社との連携強化

## 国内事業シナジーの創出がテーマ

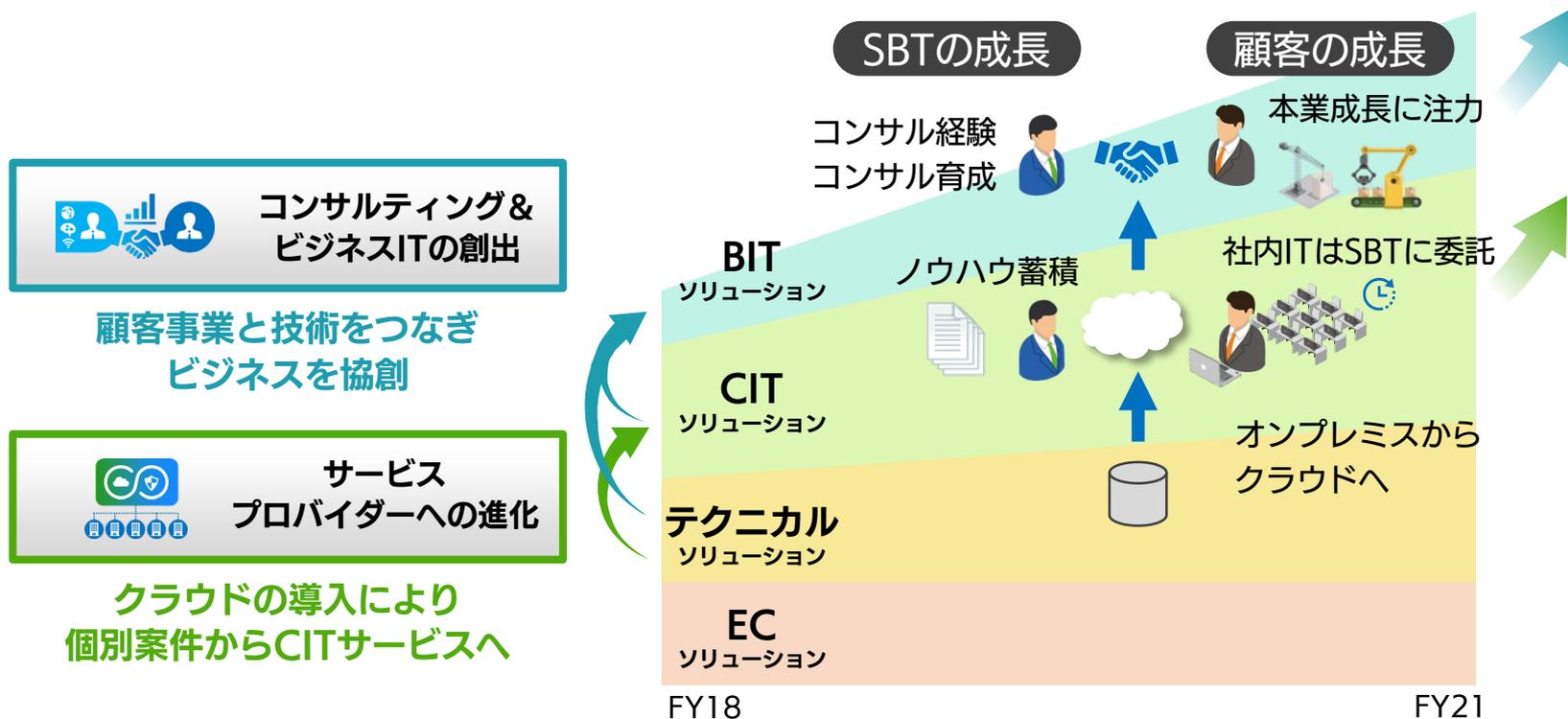
- SBTが注力してきた技術領域とソフトバンクの事業領域の協業
- ソフトバンク・ビジョン・ファンド(SBVF)の国内JV事業への技術／ビジネス支援機会



※2018年4月1日付で、親会社がソフトバンクグループジャパン株式会社（ソフトバンクグループ株式会社の完全子会社）からソフトバンク株式会社に変更となっております。

# 重点テーマとセグメント成長イメージ

## BIT・CITで売上高構成比率50%を目指す



# FY21 経営目標／配当

# 目標とする経営指標

FY21  
経営指標

- **営業利益 43億円**  
(FY18/25億円を起点にCAGR 20%)
- **BIT & CIT売上高構成比率 50%へ**
- **ROE 13%**

# 企業価値の向上を図りながら、安定配当の方針

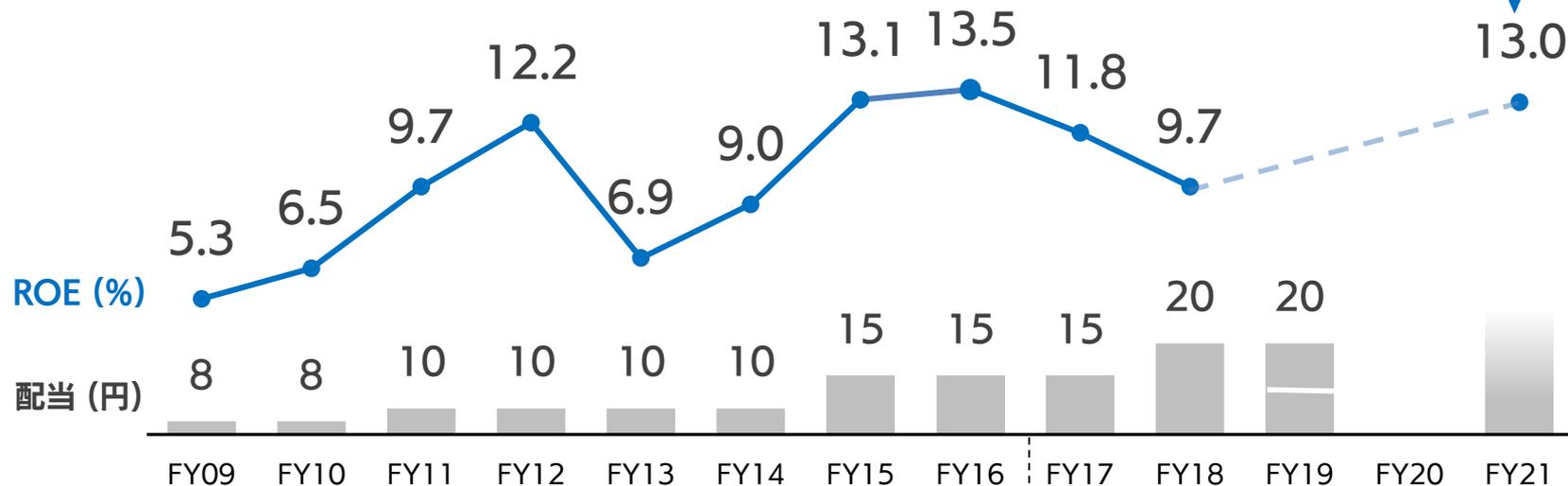
FY18  
予想

1株 15円 ⇒ 20円

FY19  
予想

1株20円、中間と  
期末配当の2回に分割

FY21  
ROE : 13%を目標



2017年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で  
株式分割を行い、配当額を調整しております。



**情報革命で人々を幸せに**

**～ 技術の力で、未来をつくる ～**

 **SoftBank Technology**